

2018年度 学士入学試験 転部・転科試験 科目等履修生選考 問題2018

早稲田大学政治経済学部

経済学（経済学科）

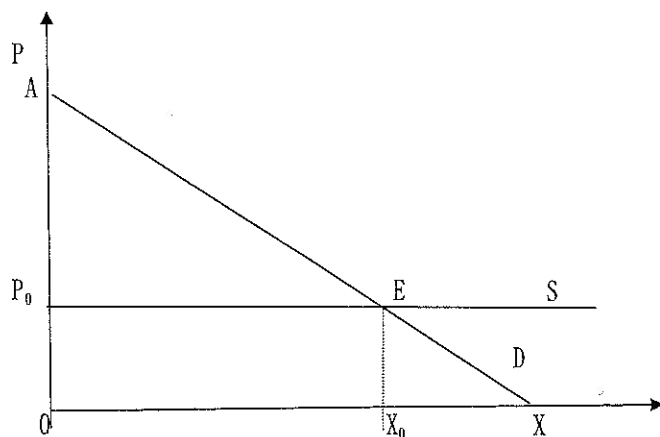
次の問題1・2に答えよ。解答はそれぞれの問題の所定の解答用紙に記入せよ。

問題1. 以下のA・Bに答えよ。

A. 以下の1~4のすべてに答えよ。

1. 外部効果の意味を2行以内で説明せよ。
2. 負の外部効果、及び正の外部効果の具体例を一つずつあげよ。
3. 正の外部効果も、市場の効率性を妨げる要因と言われる。この点を、図を示しながら説明せよ。
4. 3の正の外部効果による「市場の効率性の妨げ」の解消策として補助金をとりあげ、その効果について図を示しながら説明せよ。

B. 以下の図は競争市場の均衡を示す。Xは消費財、Pはその価格、Dは需要曲線、Sは供給曲線を表わす。以下の1~5のすべてに答えよ。



1. 上の図で消費者余剰はどの部分か？説明を加えつつ、記号で示せ。
2. 生産者にX一個あたりt円の物品税を課す。税収を図示せよ。
3. 税収のうち、消費者の負担割合は何%か、また、そうなる理由を述べよ。
4. 税収がこの市場に還元されるとする。その場合の死荷重を図示せよ。
5. 需要の価格弾力性も死荷重の大きさを決定する。この点を説明せよ。

問題2. 以下の1~5のすべてに答えよ。

1. 貨幣の3つの機能を書きなさい。
2. 現金預金比率が0.1、準備率が0.01のときの貨幣乗数を求めなさい。
3. 労働市場に焦点を当ててケインズ経済学と新古典派経済学の違いを述べなさい。
4. 投資乗数について考える。
 - (1) Y 、 $C(Y)$ 、 I を各々実質国民所得、消費関数、投資需要として財市場の均衡条件が $Y = C(Y) + I$ であるとき、投資乗数が1より大きくなる経済学的理由を述べなさい。
 - (2) (1)における投資乗数が5であるときの限界貯蓄性向を求めなさい。
5. ソローの新古典派成長モデルについて考える。
 - (1) Y 、 N 、 K を各々産出量、労働者数、資本ストックとして、同モデルで用いられる生産関数の具体例を1つ書きなさい。
 - (2) 同モデルの経済が最終的に到達する状態（定常状態）において労働者1人当たりの資本ストックが一定であるとする。このとき(1)で作った生産関数に基づく労働者1人当たりの産出量はどうに変化するかを理由とともに述べなさい。

以上